

グリーンプラザ第一集出荷センター 営農指導員 小関 和彦



ここ数年の秋冬ブロッコリーでは、台風被害による黒すす病、黒腐病が発生しています。排水性の悪い圃場では、高畝栽培や明渠を掘るなどの湿害対策を心掛けましょう。

台風後の対策

台風直後に圃場に入ると、病気を助長するので気を付けましょう。圃場に入れるようになったら、まずは薬剤散布を行います。スターナ水和剤、アミスター20フロアブルを、塩分を洗い流すようにたっぷりの液量(10坪当たり150〜200L)で散布します。強風で倒伏した株は、根が傷んでいる場合が多いので、樹勢回復のために3〜4日ごとに葉面散布(メリット青)を行います。

軟腐病の予防として、銅剤(Zボルドー等)は有効ですが、出蕾後は花蕾に汚れが残る場合がありますので、注意が必要です。

また、圃場の乾燥対策として、管理機による畝間走行や草なぎを使った株脇表土の溝切りが有効となりますが、株周辺に無理

な土寄せをすると、病気を助長させる場合があるので気を付けましょう。

発生しやすい病害の症状と対策

べと病(写真①②)

葉には、葉脈で区切られた多角形の黄褐色病斑が現れ、多湿のときは、葉の裏に白っぽいカビが発生します。葉に発生したべと病は花蕾にまん延していきま



写真① 主茎の内部が褐変



写真② 花蕾が黒褐変

●黒すす病  
花蕾に黒色の小斑点を生じ、その後病斑が拡大して黒褐色に腐敗します。台風や風雨の後に発生しやすいので、アミスター20フロアブルを散布して予防しましょう。

●黒腐病(写真③)

泥水の跳ね返りなどで感染し、出蕾後は花蕾にも発病します。多発する圃場では、オリゼメート粒剤を定植時に全面土壌混和し、降雨後に銅剤(Zボルドー等)などの薬剤散布で予防します。



写真③ 黒腐病の特徴 V字型の病斑

●防除のポイント

黒腐病防除の薬剤は黒すす病には効果がありません(逆も同様)。両病害ともに花蕾に発病した後の治療は困難なため、登録農薬での予防を中心としたクォーテーション散布が必要です。

農業 テクニカルダイアリー



大網経済センター 営農指導員 山老 秀昭

令和2年産を振り返って

今年には暖冬の影響により、一般的に豊作であったことと、新型コロナウイルスの影響で業務需要が激減したことにより、販売価格が平年を大きく下回りましたが、5月下旬ごろからは荷動きが回復してきました。作柄は大玉傾向で、2Lが半分以上となり、集荷量は前年を7割程度上回る結果となりました。

病害虫対策について

●べと病(写真④)

べと病は、湿度が90%以上、気温が10〜20℃(最適温度は15℃)の条件を好みます。条件がそろつと数時間で発病し、感染が非常に速いという特徴があります。症状は、光沢がなくなり黄緑色に変色し、葉が折れやすくなり、最後には枯死します。初めは圃場の一部に発生し、徐々に圃場全体に広がっていきます。発病株を発見した場合、直ちに圃場の外で処分してください。多発してからの農薬防除では効



写真④ べと病の全身感染

●腐敗病

腐敗病は、枯れた葉や傷口等から細菌が侵入して感染します。春先に温度が上昇すると、葉枯れや腐敗などの症状が発生します。軟腐病と似ていますが、低温期から発生することや、軟腐病ほど悪臭を伴わないことなどで区別できます。発生した株は感染源になるので放置せず、早めに抜き取って圃場の外で処分してください。温度が上昇する2月下旬から防除を行います。薬剤は株元にしっかりとかかるように散布すると効果的です。

表② 玉ネギに登録のある殺菌剤

対象病害	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	作用特性
べと病、灰色かび病、白色疫病ほか	ジマンダイセン水和剤	400〜600倍	3日前まで	5回以内	予防
	ダコニール1000	1000倍	7日前まで	6回以内	予防
	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	7日前まで	3回以内	予防・治療
べと病、白色疫病	レーバスフロアブル	2000倍	前日まで	2回以内	予防・治療
腐敗病、軟腐病	バリダシン液剤5	500倍	3日前まで	5回以内	予防・治療

表③ 玉ネギに登録のある殺虫剤

対象病害	薬剤名	使用量・希釈倍率	使用時期	使用回数
タネバエ、タマネギバエ、ケラ、コオロギ	ダイアジノン粒剤5	3〜5kg	播種時または定植時	2回以内
アザミウマ類、ネギハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ	ディアナSC	2500〜5000倍	前日まで	2回以内
アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	1000〜2000倍	3日前まで	3回以内

6月の分析経過について

残留農薬分析点数	多成分一斉分析	合計8点
	大玉スイカ	2点
	メロン	1点
	シトウ	1点
	カボチャ	1点
	ハグラウリ	1点
	パレイショ	1点
	キャベツ	1点(緑の風)

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計86点

**「営農情報メール」配信中!** 登録無料!!

作柄情報 病害虫対策 青果物概況 イベント案内 など

◆登録は、右のQRコードまたはJA山武郡市のホームページから!(スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。)

◎JA山武郡市の組合員なら、どなたでも登録できます!!

最新情報をお届けします

表① ブロッコリーに登録のある殺菌剤

対象病害	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	作用特性
軟腐病・黒斑細菌病	スターナ水和剤	2000倍	14日前まで	2回以内	予防・治療
べと病・黒すす病	アミスター20フロアブル	2000倍	3日前まで	3回以内	予防・治療
菌核病・黒すす病	パレード20フロアブル	2000〜4000倍	前日まで	3回以内	予防・治療
黒腐病・軟腐病	Zボルドー	500倍	—	—	予防
黒腐病	カスミンボルドー	1000倍	21日前まで	4回以内	予防・治療